

# ただひ

77 月号  
2022  
No. 630  
令和4年11月10日



## 今月の表紙

「JR只見線全線運転再開」  
JR只見線が、10月1日に全線運転を再開  
しました。当日は多くの方が、只見線沿線に集  
まり、再開を喜びお祝いました。  
(関連記事：P 2-5)

### 《特集》

祝・全線運転再開！

おかえり、只見線!! ..... 2~5

《News&Flash》 ..... 6

《町の話》 ..... 7~11





# 全線運転再開！ おかえり、只見線！！



お出迎え鼓笛演奏をした只見小児童

平成23年の新潟・福島豪雨で大きな被害を受け、不通区間となっていたJR只見線会津川口駅から只見駅間が10月1日に運転を再開し、11年ぶりに只見線全線が鉄道で繋がりました。当日は、列車のトラブルにより入線時刻の変更などがあったものの、只見駅や沿線には多くの人々が訪れ、列車のお出迎えをしました。

## 只見線全線運転再開記念式典



福島県主催の只見線全線運転再開記念式典が、只見小学校体育館で行われ、JR東日本の深澤祐二社長や斉藤鉄夫国土交通大臣など、およそ150人が出席しました。

深澤社長は「列車のトラブルについてご心配をおかけいたしました。これから安心して利用いただけるよう約束します。地元の皆さんから愛される只見線を再び作り上げていきたい」とあいさつしました。

また、斉藤大臣は「只見線の取組みは、先駆的な事例です。国土交通省としても引き続き、様々な形で応援をまいります」と祝辞を述べました。

あいさつの後、内堀福島県知事とともに只見小学校児童の齋藤珀君と長谷部七歌さんが、俳優の六角精児さんと作家の椎名誠さんに、只見線の魅力発信に対して感謝状を贈りました。

▶ 渡部只見町長が沿線自治体を代表し、「待ち焦がれた運転再開を心から喜び、只見線利用促進と沿線地域振興に取り組みたい」とあいさつしました



▶ 感謝状贈呈と併せて、今後の引き続きの応援をお願いした後、記念撮影をしました



# 全線運転再開を みんなで盛り上げました!



特別列車「再会、只見線号」を手を振ってお出迎え



1



2



3

特別列車のお見送り演奏をした  
六角精児バンド



4



5



6

1 一日駅長を務めた細谷唯翔君、酒井莉里さん、目黒詩さん、角田淳紘君 2 酒井さんと細谷君、昭和38年の会津川口駅から只見駅間開通時に車掌・機関士に花束を贈った藤田あき子さんが、JR職員に花束を贈りました 3 出発の合図を行った角田君、目黒さん 4 「おかげり只見線」の横断幕で、お出迎え、お見送りが行われました 5 特別列車の見送りに集まった皆さん 6 河井継之助記念館の企画で、幕末当時のような仮装をして会津塩沢駅周辺で手を振る塩沢・十島集落の皆さん

2022.10.01  
祝 只見線全線運転再開記念式典



1

2022.10.01  
祝 只見線全線運転再開記念式典



2

2022.10.01  
祝 只見線全線運転再開記念式典



3

2022.10.01  
祝 只見線全線運転再開記念式典



4

1 只見線全線運転再開を記念して、會津田島太鼓保存会による太鼓演奏 2 只見線全線運転再開記念イベントで現代版組踊の演舞を披露するチーム息吹 3 只見線全線運転再開記念イベントで披露された六角精児さんとGABEZのお2人によるコラボライブ 4 只見町出身のシンガーソングライター大竹涼華さんの只見線全線運転再開記念ライブ

# 只見線広場からも 只見線全線運転再開を応援!

只見線全線運転再開日に合わせて、  
只見線広場がグランドオープンしました



味付マトンケバブカフェでは、  
只見町の名物・マトンを  
ピタパンにはさんだ  
味付マトンケバブが食べられます



ねっか只見駅前醸造所では、  
ここでしか買えないねっかの  
「どぶろく」が販売されています



きっかけは  
新国寿花さんの  
アイデアが選ばれ、  
「只見線広場」になりました



観光案内の他、ケーキや  
コーヒーなど軽食販売を行う  
只見町インフォメーションセンター



2



3



4



5



6



7



8



1

3年ぶりに開催のうまいもんまつりも  
只見線全線運転再開を盛り上げました！

1 うまいもんまつり初日は「おかえり只見線」記念花火が夜空を彩りました 2 新潟県や只見町、会津地域のうまいもんが勢ぞろいし、たくさんの方の来場者で賑わいました 3 桐蔭学園鉄道研究部によるミニ鉄道体験コーナーは子どもから大人まで大人気でした 4 埼玉工業大学の学生が縁結び三石神社のグッズ頒布を行いました 5 うまいものステージでおどりを披露したつくし会の皆さん 6 スコップ三味線を披露した長浜女子和楽坊の皆さん 7 GABEZIによるサイレントコメディは、多くの来場者を楽しませました 8 只見町のイベントではお馴染みのあつけらかんのマジックショー

## 代行バスありがとう！



10月1日から只見線が全線運転再開するため、9月30日が会津川口駅～只見駅間の代行バスのラストランとなりました。代行バスとそれを走らせてくれた運転手さん、ありがとうございました！

## 只見線 被災から運転再開までの足跡

平成23年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新潟・福島豪雨の影響で、只見川橋梁の流失や土砂流出が発生。会津坂下駅～小出駅間が不通になる</li> <li>● 会津坂下から会津宮下間で運転再開</li> <li>● 大白川駅～小出駅間で運転再開</li> <li>● 会津宮下駅～会津川口駅間で運転再開</li> <li>● 会津川口駅～只見駅間で代行バスが運行開始</li> </ul>
平成24年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 只見駅～大白川駅間で運転再開</li> </ul>
平成25年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 田子倉駅が廃止</li> <li>● J R只見線復興推進会議を設置</li> <li>● 「J R只見線利用促進等事業補助金要綱」設置</li> </ul>
平成27年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「只見町只見線にみんなで手をふる条例」施行</li> </ul>
平成28年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福島県と沿線自治体において、上下分離方式により鉄道復旧する方針を採択</li> </ul>
平成29年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● J R只見線復興推進会議において、上下分離方式による復旧方針を決定し、福島県と会津17市町村で確認書を締結</li> <li>● J R東日本と福島県は、会津川口駅～只見駅間を上下分離方式により鉄道で復旧することに合意</li> </ul>
平成30年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道復旧工事起工式が執り行われる</li> </ul>
令和2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 只見駅～小出駅間でキハ110系が運行開始</li> </ul>
令和3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 只見線全線開通50周年を迎え、記念列車「只見海里」が小出駅～只見駅間を運行</li> <li>● 只見線鉄道施設群（17施設）が公益社団法人土木学会選奨土木遺産に認定</li> </ul>
令和4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 只見線全線運転再開</li> </ul>

**只見線全線運転再開記念  
オリジナルフレイム切手  
「只見線 全線運転再開記念」贈呈**

日本郵便株式会社福島県西部地区連絡会から只見町に、オリジナルフレイム切手「只見線 全線運転再開記念」が贈呈されました。

この切手は、平成23年新潟・福島豪雨により甚大な被害を受けた只見線が復旧工事を終えて、11年ぶりに全線運転再開となることを記念して作製されたものです。



▲切手は、会津地区内の郵便局などで販売されました



▲星賢孝さんの作品が切手のデザインになっています

**子どもたちの心を豊かに  
家庭劇場「ピーターパンとウエ  
ンデー」開演**

家庭劇場「ピーターパンとウエンデー」が9月29日に只見中学校体育館で上演し、町内の保育園児や小学校児童が観劇しました。

舞台では、大型の舟や影を使った演出の他、ワイヤーアクションで空を飛ぶ演出があり、子どもたちは興奮しながら舞台を楽しみました。

この事業は、町内の子どもたちが本格的な舞台芸術に親しみ、心豊かな成長をサポートするために行われています。



▲今年は劇団ポプラの皆さんに公演いただきました

**地域に寄り添う社会貢献  
明治安田生命「私の地元応援募金」**

明治安田生命保険相互会社坂下営業所から町に、311,500円が寄附されました。

明治安田生命保険相互会社では、社会貢献運動「私の地元応援募金」を実施しており、今回はその事業の一環で、従業員からの募金と会社からの寄附を合わせ、町に寄附をされました。

月田営業所長が10月11日に来庁し、渡部町長に目録を手渡しました。いただいた寄附は有効に活用いたします。ありがとうございました。



▲なお、只見町と明治安田生命は「健康増進に関する連携協定」を締結しています

**沼ノ平学術調査の結果報告  
林野庁関東森林管理局を訪問**

渡部町長は10月4日に、沼ノ平エリアを含む国有林を管理している林野庁関東森林管理局を訪問し、赤崎局長に沼ノ平の学術調査結果の報告をしました。

渡部町長は、約4年間にわたる学術調査の結果として、「ユネスコエコパーク」の豊かな自然環境と生物多様性を証明することができたことを報告しました。

これに対して、赤崎局長は「地域の皆様と共存共栄できるような取り組みを進めていきたい」と話されました。



▲町長から局長に、学術報告書としてまとめた只見町ブナセンター紀要を手渡しました

## 実りの秋を感じました

### 町内小学校「手刈り体験」

町内3小学校の手刈り体験が、春の田植え体験でご協力いただいた農家の方々の水田で行われました。(只見小5・6年生/9月26日、明和小5・6年生/9月26日、朝日小学校5年生/10月4日)

児童は、手刈りの大変さや農業の担い手不足による問題の他、農業が機械化されることによるメリットなどを学びました。

手刈りを終えた児童は、「食べられるようになるまで、とても大変だということが分かりました」と感想を話しました。



▲新國真也さんの田で、脱穀のお手伝いもしました(只見小)



▲松井栄吉さんの田で、はぜかけ体験もしました(明和小)



▲藁谷友活さんの田で、コンバイン乗車体験もしました(朝日小)

## 自然資源を活用した地域振興を目指す

### 「ブナ林ブレンドワークショップ」開催



▲試食後、商品化に向けて様々な提案が出されました

ユネスコエコパークの自然資源を活用した地域振興の取組みとして「第2回ブナ林ブレンドワークショップ」が9月26日に開催されました。このワークショップは、町の木であるブナやアブラチャン、オオバクロモジ等の樹木の機能性成分に着目し、それらの枝葉を活用した商品開発を目的としています。

参加者は、対象となる樹種を使用した試作品として、生葉を漬けたドリンクや乾燥葉を使用したお茶、クッキー、パンなどを持ち寄り、試食を行いました。また、試食後には、乾燥葉の活用方法や販売に向けた原材料の調達等の課題を検討しました。

## デジタル技術で只見町の魅力と水力発電の情報を発信

# J-Power 只見展示館リニューアルオープン

只見展示館（運営：電源開発株式会社）のリニューアルお披露目会が9月28日に行われ、渡部只見町長や関係者約20人が出席し、施設内の見学をしました。

リニューアルされた展示館では、普段は立入禁止の田子倉発電所内部をVR（仮想現実）で見学できる他、ダムや発電所の様子をドローンで空撮した映像やダム完成当時の画像をデジタル再現したものが展示されています。

お披露目会では、電源開発株式会社の中谷東日本支社長が「2つのダムが間近で見られるのは珍しい。今回のリニューアルで、只見町の賑わい創出のため多くの人に足を運んでほしい」とあいさつされました。



▲画像をデジタル再現したものからは、当時の様子などがうかがえます

## 第63回福島県農業賞

# 目黒広信さん・美樹さん夫妻が受賞報告



▲報告に訪れた目黒夫妻

福島県内の「農業十傑」とも呼ばれる「福島県農業賞」に目黒広信さん・美樹さん夫妻（塩ノ岐）が選ばれ、10月19日に受賞報告に役場を訪れました。

目黒夫妻は、多品種のリンドウ栽培を行い長期間の出荷を可能としていることや環境に配慮した農業経営を実践していることなどが認められ、表彰されました。

受賞について目黒夫妻は、「若い時から支え続けてくれた多くの農業者に感謝しています。引き続き、質の高いリンドウ栽培を続けていきたい」と話しました。

## 市町村対抗県軟式野球大会と市町村対抗県ソフトボール大会

# 只見町チーム結果報告会

第16回市町村対抗県軟式野球大会と第9回市町村対抗県ソフトボール大会に出場した只見町チームの結果報告会が10月18日に開かれ、野球の横山大主将とソフトボールの馬場秀明監督、河原田祐太主将が報告に訪れました。

野球、ソフトボールともに善戦するも惜敗で、監督や両主将は「今年の反省を生かして結果に繋げたい」と来年に向けた抱負などを話しました。

また、渡部町長からは「まずは懸命に頑張ったことに敬意を表したい。来年も元気な只見町チームとして頑張ってもらいたい」と健闘を称えました。



▲来年の抱負を力強く話してくれた両チームの主将と馬場監督



## 秋晴れの下、ふるさとを歩く

### 「第6回明和ふるさとハイキング」開催

「第6回明和ふるさとハイキング」が10月16日に開催され、約30人が参加しました。今回は、大倉集会施設から大倉八幡神社やつつじが丘分校石碑、ただみ・モノとくらしのミュージアムなどを巡りながら、集会施設に戻る約2.5kmのコースでした。

開会式後、大倉集会施設のそばにある「大倉土地改良沿革の碑」について三瓶藤助さんが解説し、ハイキングがスタートしました。史跡などではクイズが行われ、参加者は最後までハイキングを楽しみました。



▲秋晴れの下、参加者は大倉地区の散策を楽しみました

## お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ！

### かるがもクラブ「ハロウィンイベント」



▲マントとヨーヨー、ハロウィングッズを手に記念撮影をしました

かるがもクラブ「ハロウィンイベント」が10月7日に開催され、4組の親子が参加しました。親子の触れ合いを楽しんだ後、ハロウィンの衣装や手作りのヨーヨーを作りました。

衣装は黒色のビニールに赤い紐を通してマントをつくり、ヨーヨーはオレンジ色の綿を詰めたビニール袋にゴムを通しカボチャのお化けをイメージした顔をつけました。

子どもたちは、作ったマントやヨーヨーを手に、たくさん体を動かしました。

## 全力でタスキをつなぎました

### 「只見町民駅伝大会」開催

新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止した「只見町駅伝競走大会」の代替競技として、「令和4年度只見町民駅伝大会」が10月9日に開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止として、参加チームは町内限定ではありましたが、中学生、一般、男女混成、オープン参加を合わせて全16チームが参加しました。

大会当日は、途中棄権などもなく、全チームが最後までタスキをつなぐことができました。



▲チームの思いをタスキに込め、スタートを切る第1走者の皆さん

## 只見っ子の心の強さを全国に

# 三瓶叶<sup>かなと</sup>翔君、五十嵐<sup>ちひろ</sup>千紘君 全国大会出場結果報告

三瓶叶翔君（只見中1年・空手）と五十嵐千紘君（只見小6年・剣道）が10月7日に役場を訪れ、それぞれが出場した全国大会の結果を報告しました。

三瓶叶翔君は、カラテドリームフェスティバル2022全国大会に出場しました。結果としては敗退ではありましたが、判定まで持ち込み粘り強さを見せた試合でした。

五十嵐千紘君は、第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会（団体戦）に出場しました。団体全体の結果は敗退でしたが、個人成績としては引き分けに持ち込むなど諦めない姿勢を貫きました。



▲渡部町長は「2人の全国大会出場には、多くの人が勇気を貰った」と健闘を称えました

## 只見町の紅葉を満喫

# 「第34回ふくしま緑の百景歩こう会」開催



▲多くの方が参加され、只見町内の景色を楽しみました

町と福島県森林・林業・緑化協会、福島民報社が主催する「第34回ふくしま緑の百景歩こう会」が、10月23日に開催され、約230人が参加しました。只見線広場をスタート・ゴールに只見湖沿いを巡る約10kmのコースで、参加者は秋の只見町を満喫しながら歩きました。

参加者からは「緑の募金」が寄せられ、集められた募金は福島民報教育福祉事業団を通じて町に寄附されました。閉会式において福島民報社の関根英樹取締役事業局長から渡部町長に募金箱が手渡されました。

## マック小島さんが来町

# スクエアダンス交流会

スクエアダンスの教室に通う、または指導を行っている人などが集まる交流会が10月18日に只見振興センターで開催され、只見教室の生徒の他、青森県や埼玉県からの参加もあり、約40人が集まりました。

スクエアダンスとは、4組8人が1セットになって、コーラー（指揮者）の指示に従い踊るものです。基本的な動作（コール）を覚える必要がありますが、幅広い年齢層の方が踊られています。

今回の交流会は、スクエアダンスコーラーとして世界的に活躍されているマック小島氏をゲストコーラーにお呼びし、スクエアダンスを通じて笑顔があふれる交流会になりました。

町内の方でダンス教室に参加したい、または見学したい方は渡部和子さん（0241-82-3242）までお問い合わせください。



▲コールを覚えることで、初対面同士でも楽しむことができるそうです

## 参加者で共有する素敵な時間

### おもいのたけ「夏のおもいで ライブ」開催

様々な企画・活動を行うサークル「おもいのたけ」の主催で「夏のおもいで ライブ」が亀岡サンドバレーコートで開催されました。町内と金山町在住の4人がバンドを結成し、「歌うたいのバラッド（斉藤和義）」など数曲を披露しました。

参加者は、ライブ演奏を聴きながら、夕食や軽食を楽しみ、日頃の疲れなどを癒す時間となりました。

また当日は参加者から寄附を募り、バンドのMC（司会進行）を務めた目黒英樹さんが、福島民報社の芳見社長を通じて、一般社団法人福島民報教育福祉事業団に寄附しました。目黒さんは「只見町の元気を発信し、教育振興に繋げてほしい。寄附は、国際的な支援に役立ててほしい」と思いを伝えました。



▲トレーラーハウス前のデッキ上で演奏するバンドメンバー

## SDGsの取組みを発信

### 只見中学校「ふくしまSDGs博」に参加



▲只見中学校のブースには内堀県知事も訪れました

県内自治体や県内外の企業などのSDGsの取り組みを紹介・報告する「ふくしまSDGs博」が9月24日～25日にビッグパレットふくしまで開かれ、只見中学校がブース出展しました。

只見中学校のブースでは、新聞紙レジ袋の作り方講座の他、訪れた方に「あなたの取り組みたいSDGs」を聞くなどSDGsを広める活動も行いました。

また、SDGs博の最後には、只見中3年の吉津就君と県内の中・高校生6人がステージに登壇し、「誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、互いに助け合いながら行動していく」という思いを発信しました。



## 虫歯のない子

(10月25日 3歳児検診)



まつまゆ  
吉津 茉優さん  
(長浜)



さの ゆい  
佐野 結英さん  
(亀岡)



さの えま  
佐野 英菜さん  
(亀岡)



ほりがね いふろ  
堀金 威風くん  
(小林)



かわもと りあ  
川元 彩愛さん  
(蒲生)

## 広報ただみ診療所

こころを休める方法について

わかやま たかし  
朝日診療所 所長 若山 隆



今回は、“こころを休める方法”についてです。こころに疲れがたまっているとき、どうやって休めていますか？ 眠りますか？ 散歩などで体を動かしますか？ 友人に悩みを話したりしますか？ 好きな音楽を聴いたり、動画を見たりしますか？ 旅行するとか？ 何もせず、ぼーっとする？ 人それぞれで違うやり方があるでしょう。ある場合はよく眠ることで元気になれたが、別の場合では、なかなか眠れなくて疲れが取れない、なんてこともあるでしょう。散歩や音楽を聴いても、過去の後悔や未来の心配などがとめどなく浮かんできて、疲れが取れなかったりすることもあるかもしれません。つらい時ほど、友人に話せなかったり、忙しくて出かける暇もなかったりなんてこともあるかもしれません。重要なことは自分に合った方法をたくさん用意しておくことです。

“こころを休める”ときに重要なのは、“こころの動きを止める”ことです。身体が運動して疲れた時は、身体を動かすのを止めますよね？ こころも同じです。“こころの動き”とは何でしょうか？ それは思考です。思考を止めるにはどうしますか？「思考よ止まれ!!」と思考しますか？ これではうまくいきませんよね(笑)。思考を止める方法は、自分の感覚に注意を向けることです。感覚とは、いわゆる五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚）です。ためしに、注意を自分の呼吸（胸が膨らんだり縮んだり）と聴覚（どんな音が聞こえるか）と触覚（地面に触れている足の裏の感覚やお尻の感覚）に同時に向けてみてください。思考する余力がなくなると思います。思考と五感、脳のエネルギーを共有しているので、感覚に注意をたくさん向けるほど、思考できなくなります。休むときは、自分の呼吸の感覚に注意を向けたり、散歩のときは、周囲の景色・音・身体感覚に注意を向けながら行くと、こころがぐっと休まります。このような方法をマインドフルネスといいます。ぜひお試しください。

## 地域おこし協力隊として Vol.95

ユネスコエコパーク登録地域間の連携

只見ユネスコエコパーク推進協力隊 こんどう ゆうた  
近藤 友太



去る7月26日～27日、国内ユネスコエコパーク登録10地域で構成される「日本ユネスコエコパークネットワーク～Japanese Biosphere Reserves Network～(以下、JBRN)」の会合が只見町で開催されました。会合では年次総会の他、情報交換の場が設けられ、各地域の特徴やユネスコエコパークに係る取り組みの紹介、意見交換が行われました。各地域の担当者が直に顔を合わせるのはコロナ禍により2年半ぶり、オンライン会議ではなかなか難しい活発な質疑応答、意見交換が図られました。

さて、ユネスコエコパークでは各地域の自然環境、文化、登録経緯などを背景にそれぞれ特徴的な活動が行われています。また、それぞれの地域がユネスコエコパーク活動に係る課題を抱え、その解決に向けて試行錯誤し取り組みを行っています。JBRNはこれら各地域に蓄積されたノウハウ・情報の地域間での共有を橋渡しする場としての役割を持っています。また、一つの地域では対処できないような課題に対して協働して取り組む場でもあります。

多くの登録地域で運営事務は少人数の職員で行われており、取り組む事業は(地域によりけりですが)自然の保護・保全、学術調査研究、自然生態系の経済的利用、伝統文化・芸能の継承、伝統工芸の継承、またこれらに携わる人材の育成などなど多岐にわたります。このような中、JBRNの場でのノウハウ・情報の共有は、それぞれの地域での活動のさらなる活性化につながることを期待されています。

JBRNの事務局は登録地域の持ち回りとなっており、現在只見が事務局を担当しています。「生物多様性の保全と利用を通して地域社会の持続的な発展を目指す」というユネスコエコパークの目的の達成を目指し、登録地間の情報交換、交流、協働を通じたユネスコエコパークの発展と向上、課題解決への力となるよう引き続き活動に取り組んでいきます。

## 只見ユネスコエコパーク Q&A(6)

Q

ユビソヤナギはどんな樹木で、どのように付き合っていけばよいのでしょうか。

A

ユビソヤナギは、大きなもので樹高15mほどになる日本固有のヤナギ科樹木です。1972年に群馬県水上町（現・みなかみ町）を流れる湯檜曾川で初めて発見されたことがその名前の由来となっています。分布は、青森県を除く東北5県および新潟県、群馬県のごく限られた地域の山地河川でしか確認されていない希少な樹種です。実際、環境省および福島県のレッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）では、絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危機が増大している種）に分類されています。

ユビソヤナギの一生は、河川の増水などにより新しくつくられた砂礫が堆積した場所で種子から発芽、成長し、子孫を繋いでいくことが特徴です。つまり、新しい砂礫地がつけられるような自然度の高い河川がユビソヤナギには必要なのです。逆を言えば、ユビソヤナギが自生する河川環境は自然度が高く、多様な植物・水生生物・陸上動物などの生活の場、水質の浄化、魅力ある景観など多様な機能を持っています。私たちに身近なものとしては、食用とする淡水魚類もこうした環境で育まれています。しかし、これまでに多くの河川において砂防堰堤やコンクリート護岸の構築などの河川改修が行われたことにより自然度の高い河川が少なくなり、ユビソヤナギが自生する場所も少なくなったと考えられます。

只見町では、2003年に伊南川でユビソヤナギが発見され、民間団体の調査により当時の只見川・伊南川流域は国内最大規模のユビソヤナギ自生地として知られました。しかし、平成23年（2011年）7月新潟・福島豪雨により只見川・伊南川流域のユビソヤナギを含む水辺林の一部が壊されたり、河川改修が進められたりするなどして、河川環境が変化し、ユビソヤナギもまたその個体数や生息域は以前に比べ大幅に少なくなっていました。

近年の全国的な豪雨などの異常気象の頻度が高まる中、人命や財産を守る河川管理は重要なものです。只見町はユネスコエコパークの登録地として、私たちの共有財産・生活基盤である只見川・伊南川流域の良好な河川環境の維持と住民の安全確保を両立した河川管理が必要と考えます。例えば、河川幅を広く確保すれば、洪水対策にもなり、ユビソヤナギなどの生育できるような自然度の高い河川環境も維持できるはずです。自然と調和した河川管理は、自然に優しく、私たちの豊かで、安心・安全な生活にもつながるものとなるのではないのでしょうか。



▲早春に花を咲かせるユビソヤナギ



▲自然度の高い河川は只見町の豊かな自然のシンボルの一つ(伊南川)



# 町民文芸

## 只見短歌会 令和四年十月詠草

夢にのみ出てくる娘ななが孫は国の名背負い海外に行くといふ

馬場 八智

入院の夫を励ます手紙来ぬ曾孫からなり吾も貰ひたし

目黒 富子

手入れさる花壇それぞれ花愛でし初秋の風にコスモスゆらぐ

関谷登美子

好きな時間一年の孫に尋ねれば何もないけど休み時間と言ふ

新国由紀子

朝毎に「薬飲んだ？」と夫に聞き我も忘れむとケースより出す

渡部ヨリ子

茜雲は夕方のみと思ひあしに今朝の茜に吸ひ込まれをり

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会 十月定例会

稲刈りの夫婦の空や雲幾つ  
百日紅飛行機雲の崩れゆく

修 一

稲刈りの匂い運ぶ風の音  
秋晴るる歓喜の絶景只見線

信

コーヒーは少し熱めに秋の朝  
友逝きて涙やまざり青芒

都

くつひもをきりりと結ぶ竹の春  
小春日や遠山越える旅心

一 恵

涼風にボサノバを聴く昼寝かな  
苗植えて水やる夫よ夕日なか

真理子

十五夜に祈りを込めた五十年  
栗の味一人ぐらしと共に食べ

睦 子

## 日高俊平太 指導

九十九折り登り終えたる蕎麦の花  
嵐去る赤の残れる曼殊沙華

紺 青

誰の名も咽に支える敬老日  
もう読まぬ本を選び出す秋時雨

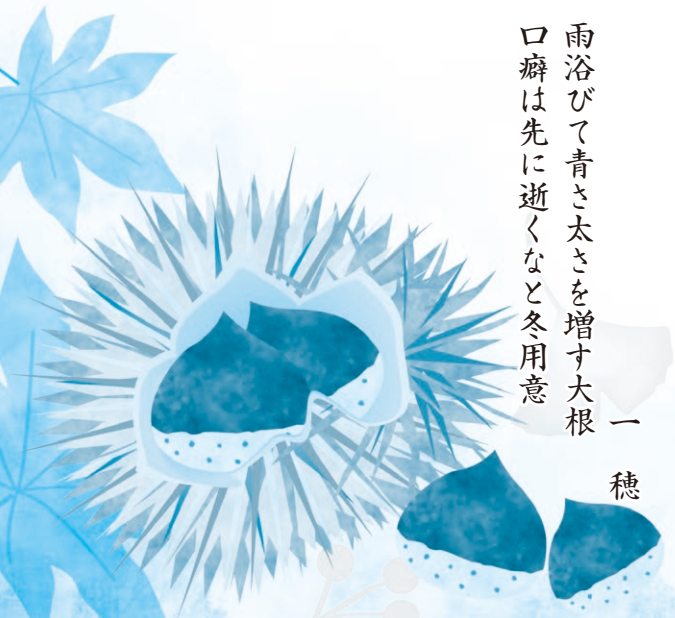
恒 夫

新しき畝にとびとび貝割菜  
黒土にかがやいている貝割よ

礼

雨浴びて青き太きを増す大根  
口癖は先に逝くなど冬用意

一 穂



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## お知らせ

### 無料調停相談会

会津若松調停協会主催の無料調停相談会を開催します。

金銭・土地賃借、建物の明け渡し、相隣関係・損害賠償等の民事に関する調停申立や離婚・子の監護養育・離縁・扶養・相続問題等の家事に関する調停申立の相談に応じます。事前予約不要で、秘密は厳守されます。お困りの方はご利用ください。

### 日時

令和4年11月22日(火)  
午前9時30分から  
午後6時まで  
(最終受付は午後5時まで)

### 場所

会津若松市城東町14-52  
会津若松市文化センター  
☎0242-2616661

### 費用

無料

### 申込方法

当日会場申込

### 問合せ

福島地方裁判所  
会津若松支部庶務課  
☎0242-2615725

### JR只見線利用促進等事業補助金

町では、JR只見線の利用促進や振興を目的とした事業に対して補助する「JR只見線利用促進等事業補助金」があります。

### 対象

町民が3人以上で構成する町内に住所を有する団体等

### 補助金の額

1事業につき10万円(利用促進等の効果が高く、町長が特に認めた場合には20万円)

### 事業例

〈只見線を利用した旅行〉  
・対象経費：ガイド等謝金及び旅費、参加者の只見線列車運賃、施設入場料等  
〈只見駅前を利用したイベント〉  
・対象経費：スタッフ等賃金、ポスター等作成費、施設借上料等

### その他

記載内容以外にも要件がありますので、詳細につきましては左記の問合せ先までご連絡ください。また、要綱や申請書等は町ホームページでも確認いただけます。

### 問合せ

只見町役場地域創生課  
☎0241-8215220

## 税 今月の納期

11月25日までに納めましょう

- 町県民税(3期)
- 国民健康保険税(5期)
- 農集排使用料(11月分)
- 介護保険料(5期)
- 後期高齢者保険料(4期)

## ブナりん健康ポイント 50ポイント達成 おめでとう



菅家公子さん(布沢)

「ブナりん健康ポイント制度」では、65歳以上の方が介護予防事業や検診等に参加するとポイントをもらうことができ、ポイントに応じて健康グッズ等と交換することができます。これからも健康づくりを楽しんでください。

## 「ふるさと大使」の皆さんの任期が延長になりました

只見町の情報発信やPR活動を行っていただいている第4期「ふるさと大使」の皆さんが、改めて1年間の任期を継続していただけたこととなりました。なお、引き続きふるさと大使としてご活動いただく方は次のとおりです。

### ふるさと大使名簿

としげ 利重	かずひこ 和彦さん(千葉県)	わたなべ 渡部	ゆうじ 雄二さん(東京都)
いじち 伊地知	たかお 孝雄さん(東京都)	つるまき 鶴巻	よしこ 好子さん(東京都)
おの 小野	きみつぐ 公嗣さん(千葉県)	わたなべ 渡部	みえこ 美重子さん(千葉県)
なかむら 中村	おさむ 治さん(千葉県)	よし の 吉野	むつみ 睦美さん(東京都)
きはら 木原	まゆみ 真由美さん(埼玉県)	く 久保	しゅうじ 秀次さん(東京都)
おもしろ 重石	みのる 稔さん(神奈川県)	おおみや 大宮	あきら 明さん(神奈川県)
よしほら 吉原	いくお 育男さん(茨城県)	ところ 所	ひであき 英明さん(千葉県)

## 町長から

只見町長 渡部 勇夫

◆10月23日に「ふくしま緑の百景歩こう会」が只見町で開催されました。

町内外から約230人が参加され、秋の只見町を感じていただきました。

開会前に「長浜女子和楽坊」の皆様による演奏が始まると、曇っていた空から青空が顔を覗かせました。素晴らしい演奏とともに大会に華を添えていただいた「長浜女子和楽坊」の皆様には心から感謝申し上げます。

◆JR只見線が全線運転再開を果たしましたが、予想以上に多くの方にお越しいただいたため、受け入れ対応が行き届かず、列車の編成数や運行ダイヤ、2次交通の確保、お昼の提供、宿泊等について、ご迷惑やご負担をおかけしております。

JRの列車の編成数とダイヤについては、臨時対応していたことになりました。

また、2次交通やお昼の提供について、町内関係者の皆様のご協力により臨時周遊バスや新しい食の提供が始まりました。

この場をお借りして関係者の皆様に御礼を申し上げますとともに、引き続きよろしくお願いたします。

◆そして、只見駅～会津川口駅間が不通となつて以来11年の長きにわたり、雨の日も雪の日も、そして酷暑の日も毎日安全運転で沿線住民の方やご来訪の方を代行バスで輸送していただいた「有有限会社ジオ・サイクル」の酒井社長はじめ、運転手や関係者の皆様に改めまして心から御礼申し上げます。

## 町長スケジュール (10月分)

- |     |  |     |   |
|-----|--|-----|---|
| 1日  | 賑わい施設グランドオープン、只見線全線運転再開記念式典  | 15日 | 八十里越交流懇談会（三条市）  |
| 3日  | 郡山国道事務所長来庁   | 17日 | 東北電力(株)田島電力センター所長他来庁  |
| 4日  | 関東森林管理局長表敬訪問（群馬県前橋市）   | 18日 | 市町村対抗福島県軟式野球及び福島県ソフトボール大会結果報告会  |
| 6日  | 只見町文化祭実行委員会  | 19日 | 福島県農業賞受賞報告（塩ノ岐目黒広信氏ご夫妻）、南会津地方広域市町村圏組合管理者会（南会津町）、「高校生ふるさと探究プロジェクト」による訪問（県立南会津高校1年 堀金康太君） |
| 7日  | 只見町社会福祉協議会長他来庁、福島県小中学校校長会陳情来庁、全国大会出場結果報告（空手：只見中 三瓶叶翔君、剣道：只見小 五十嵐千紘君） | 20日 | 福島県文化振興財団理事長他来庁、只見ふるさとの雪まつり実行委員会  |
| 8日  | 写真展「懐かしき東北・美しき東北」記念講演会「写真と民俗学」                                       | 21日 | 町内現地調査  |
| 9日  | 只見町民駅伝大会   | 23日 | ふくしま緑の百景歩こう会  |
| 11日 | 明治安田生命保険相互会社寄附贈呈式  | 24日 | DeNA社長来庁  |
| 12日 | (株)季の郷湯ら里取締役会、只見町農業再生協議会、政策調整会議                                      | 25日 | (株)モンベル広報部部長代理他来庁   |
| 13日 | ふるさと只見会事務局長来庁、定例庁議   | 26日 | 福島行政監視行政相談センター所長来庁、行政機構改革審議会  |
| 14日 | 南会津建設事務所長他来庁   | 27日 | 全国水源の里シンポジウム（喜多方市）  |
|     |  | 28日 | (公社)福島県森林・林業・緑化協会役員会（福島市）   |
|     |  | 31日 | 八十里越街道観光セミナー  |



# 町民の消息

(9月26日～10月25日届出分) 敬称略

## ■おくやみ申し上げます

大馬梁	竹場取	八重子	93歳	布梁	沢取
鈴木	トミ子	一孝	83歳	小林	黒谷
鈴木	トクノ		97歳	只見	



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和4年10月1日現在

人	口	3,850 (-4)
男		1,907 (-3)
女		1,943 (-1)
世帯数		1,600 (±0)
高齢化率		48.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 12 転出 11 出生 2 死亡 7

▽JR只見線全線運転再開当日は、多くの方が祝福に訪れました。おしらせ欄にも掲載がありますが、町民3人以上で構成する団体の只見線利用には補助制度があります。例えば、列車に乗り、只見線沿線の歴史探訪であれば、運賃と施設の入館料などが補助されます。只見線に乗って楽しみながら応援してみませんか。

▽冷え込みが厳しくなり、ストーブなどの暖房機器を使い始めている方も多いのではないのでしょうか。使用前の点検や周りの確認を行い、火災や事故に気を付けましょう。

(小林)

## あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

## 明和振興センター 図書紹介

明和振興センター図書室  
☎86-2111

# おすすめ新着図書

## ★#真相をお話しします



結城真一郎 (新潮社)

ミステリ界の超新星が仕掛ける、罨、罨、罨、罨、罨。家庭教師の仲介営業マンとしてのぎを削る大学生。娘のパパ活を案じながらも、マッチングアプリに勤しむ中年男。不妊に悩んだ末、精子提供を始めた夫婦。リモート飲み会に興じる学生時代の腐れ縁。人気YouTuberを夢見る、島育ちの小学生四人組。微笑ましくて、愛おしくて、時に愚かしい。令和を生きる私たちにニュー・ノーマル。一本当に？読みながら覚えるかすかな違和感と確かな胸騒ぎ。それでも、あなたの予想は必ず裏切られる！緻密で大胆な構成と容赦ない「どんでん返し」の波状攻撃に瞠目せよ。第74回日本推理作家協会賞「短編部門」受賞作「#拡散希望」を収録。

## ★大ピンチずかん



鈴木のりたけ (小学館)

きみは、ガムを飲んじゃったことはあるかな？シャンプーが目に入ったことは？大ピンチは、なんの前触れもなく君の生活に入り込んでくる。振り返ってみると、人生は大ピンチばかりだ。この先もいつ大ピンチに陥るかわからない。ピンチに出会うのを恐れるより、どんなピンチがあるかを知っておいた方が心の準備が出来るというもの。そんな時は、この『大ピンチずかん』。これでもう、いつ大ピンチが来ても大丈夫。持ち運ぶのにも便利なコンパクトサイズ。ぜひきみも、でかけるときは持って行って突然の大ピンチにそなえよう。

☆明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。



## ヤマカガシ

(学名: *Rhabdophis tigrinus*)

(写真・文 吉岡義雄)

【有鱗目ナミヘビ科】



▲ 目は大きく、動くものによく反応する



▲ 威嚇するヤマカガシ。コブラのように頸部を広げ、敵に見せつける

ヤマカガシは、全長70～150cmのナミヘビ科のヘビです。背面の斑紋は個体差や地域差が大きく、只見では写真のように黄色および赤色の斑紋を欠くものもよく見られます。両生類の成体と幼生、魚類などを捕食しますが、特にカエルを好みます。そのため、カエルが多く生息する湿った林縁部や水田に多く生息しています。

ヤマカガシは2種類の毒を持っています。一つ目は、喉の奥にある牙によって注入される毒です。深く咬まれなければ注入されませんが、毒性は非常に強く危険です。本来は捕食のために用いる毒で、獲物を飲み込む際に毒を注入する仕組みになっています。

もうひとつは、首のあたりの皮膚の下にある毒腺(頸腺)から分泌される毒(頸腺毒)です。頸部に強い圧力が加わるとにじみ出る仕組みになっており、時には飛び散ることもあります。この頸腺毒が目に入ると激しく痛み、失明する恐れもあります。威嚇の際はこの頸部を天敵に見せつけるような姿勢をとり(写真右)、敵が頸部を攻撃するように誘います。実はこの頸腺毒は、獲物のヒキガエル由来の成分であることが知られています。また、頸腺毒は母親から子に引き継がせることができます。頸腺毒を持った子の方が生存に有利であるため、産卵前のメスは積極的にヒキガエルを捕食することが知られています。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」「ふるさと館田子倉」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

写真展「この写真、どこ？だれ？何してる？

—皆川文弥が撮った只見線が開通した頃の只見—

会 期：2022年8月11日(木)～2022年11月28日(月)

場 所：ふるさと館田子倉 2階会議室

企画展「自然素材を活かす技

—木地、編み組、草木染めと伝承製品の魅力—

会 期：2022年10月29日(土)～2023年3月27日(月)

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー